

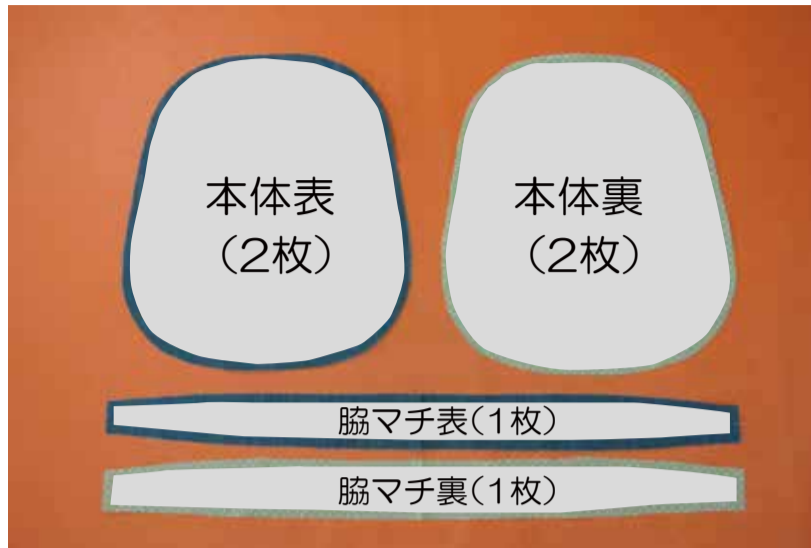


作品見本



縫代の付け方 (参考)

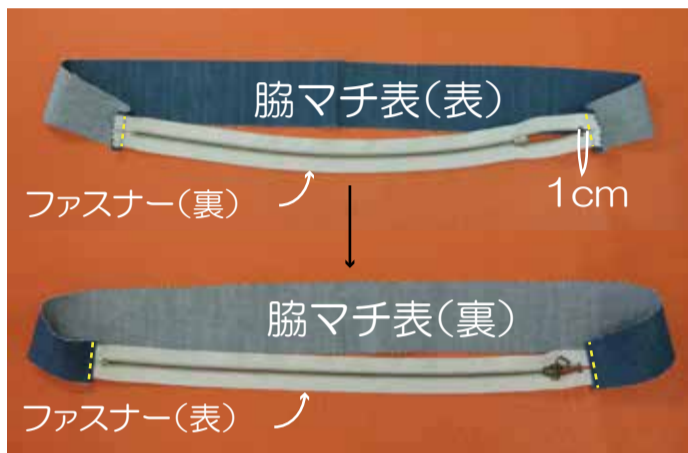
縫代は0.7cm



革テープタイプ

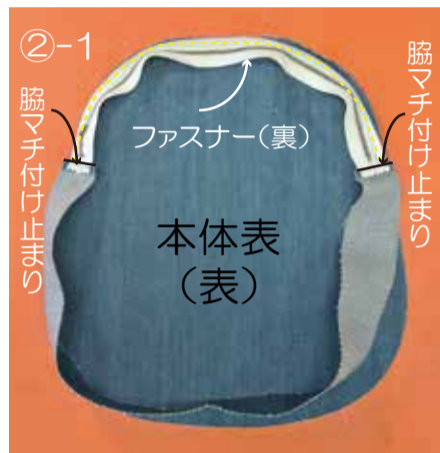


既成ハンドルタイプ



① ファスナーを脇マチに付ける

ファスナーの金具の端から1cmの位置と脇マチを中表に合わせ、縫い表に返してステッチをする(両側)



② ファスナーを本体に付ける(両側)

②-1 本体表とファスナーを中表に合わせ仮止めする(脇マチ付け止まりまで縫う)



②-2 本体表と裏を中表に合わせファスナー部分を脇マチ付け止まりまで縫う



③ 脇マチを縫う

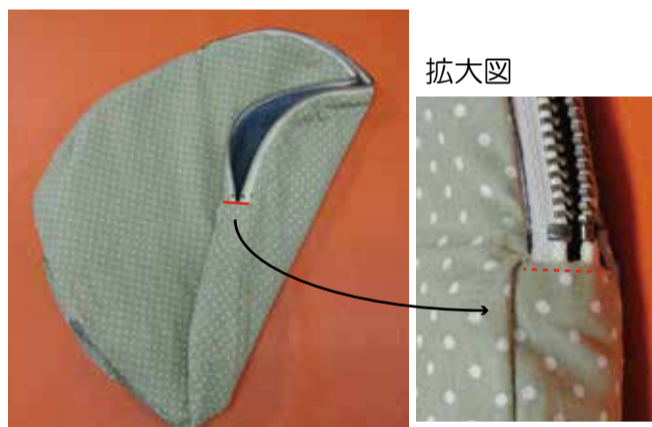
③-1 本体表と脇マチを中表に合わせ、縫う(両側)



③-2 本体裏と脇マチを中表に合わせ、脇マチ付け止まりまで縫う



③-3 本体のファスナーを開けた状態で、反対側の本体裏と脇マチを中表に合わせ、縫う(返し口をあけておく)



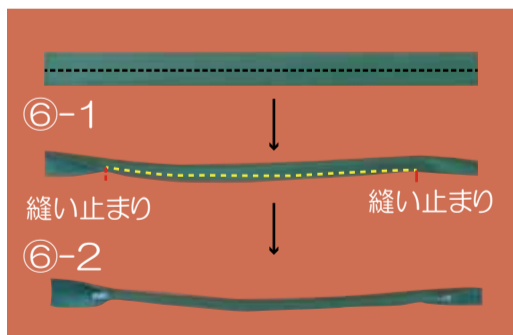
④ 裏地の脇マチの上部を縫う

本体裏の脇マチ付け止まりの上部を出来上がりに折り、まつる(両側)



⑤ ステッチをする

ファスナー付け位置にステッチをする(両側)

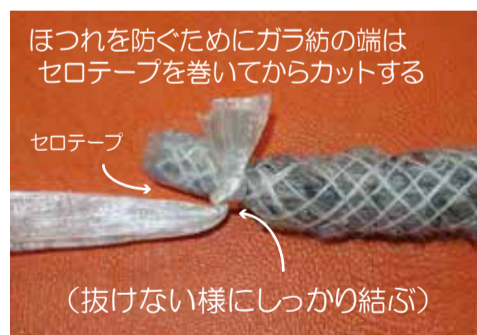


⑥ 手紐を作る(2本)

⑥-1 革テープを半分に折り、縫い止まりまで縫う



⑥-2 紐通しにナイロン紐を通しガラ紡の先に結びつける(ナイロン紐は手紐より長めに用意する)



(ガラ紡はすべりが悪く太いのでナイロン紐を使う事により作業がスムーズになる)



⑥-3 ナイロン紐を手紐に通しナイロン紐を引き、ガラ紡を手紐に通す



※ガラ紡は長めに用意し、手紐に入れた後カットする



⑦ 手紐を付ける
手紐付け位置に手紐縫い付ける(両側)

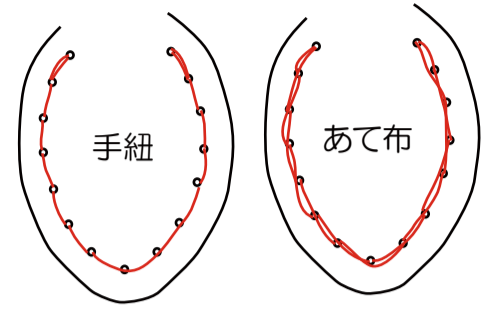
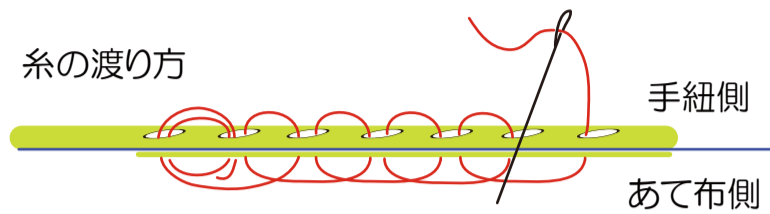
※既成ハンドルタイプの付け方は別紙参照

鎌倉スワニーの店舗やオンラインショップで、お買い物された方へ寸法図(バッグなど小物は原寸大型紙、洋服など大きいものは縮図)を配布しています。

既成ハンドルの付け方



作品見本



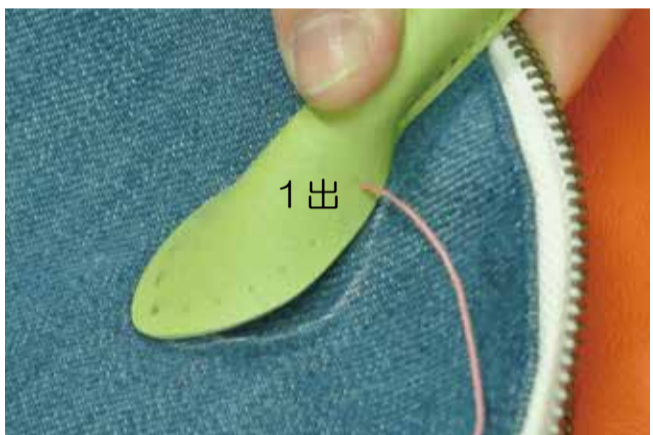
あて布を型紙にして付け位置に印をする



印を付けると全ての手紐の膨らみがバランスよく付く



穴が小さいと針を通しにくいので、目打ちなどで大きくしておく



裏から針を入れ、手紐の1番端の穴に糸を出す



手紐の2番目の穴に針を入れる



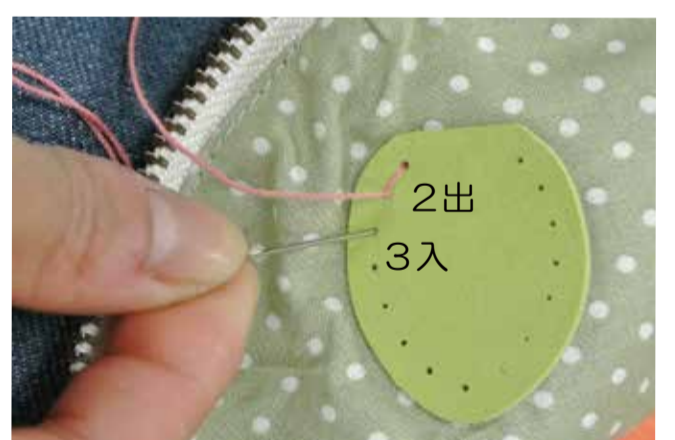
あて布の2番目の穴から糸を出し1番端の穴に針を入れる



手紐の1番端の穴から針を出す



再度、手紐の2番目の穴に針を入れる
(二重にすることで丈夫になる)



あて布の2番目の穴から糸を出し3番目の穴に針を入れる



以降は半返し縫いの要領で2から出し4に入れ3から出し5に入れと、一つ先の穴に入れ、一つ戻すを繰り返す



縫い終わりはあて布の裏側で玉止めをする



表側は、糸は重ならない
(最初と最後は二重にする)